

サンプル

特定企業調査報告書

(株式会社フジクラ編 サマリー)

株式会社AIRI

1. 会社概要

■株式会社フジクラの概要

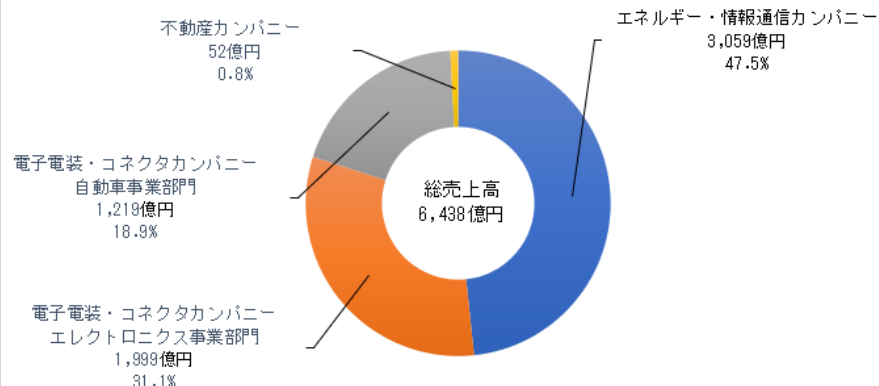
本社所在地	東京都江東区木場1-5-1
設立年月日	1910年3月18日(創業:1885年2月)
年間売上高	643,700百万円(2020年度)
従業員数	53,717名(2021年3月31日現在:連結)

■フジクラグループの業績推移(単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総売上高	6,538	7,401	7,108	6,723	6,437
経常利益	326	341	210	13	184
当期純利益*	129	184	15	△385	△54

注 △は損失を表す。

■フジクラグループの事業別の業績(対外部顧客)



2. 事業概要

株式会社フジクラの各事業分野の主な事業内容は以下のとおりです。

フジクラグループは、株式会社フジクラ、子会社125社及び関連会社16社により構成されており、エネルギー・情報通信カンパニー、電子電装・コネクタカンパニー(エレクトロニクス事業部門、自動車事業部門)、不動産カンパニーに亘って、製品の製造、販売、サービス等の事業活動を展開しています。

各事業分野の主要製品は以下のとおりです。

(1) エネルギー・情報通信カンパニー

電力ケーブル、通信ケーブル、アルミ線、被覆線、光ファイバ、光ケーブル、通信部品、光部品、光関連機器、ネットワーク機器、工事等

(2) 電子電装・コネクタカンパニー

- ① エレクトロニクス事業部門
プリント配線板、電子ワイヤ、ハードディスク用部品、各種コネクタ等
- ② 自動車事業部門
自動車用ワイヤハーネス、電装品等

(4) 不動産カンパニー

不動産賃貸等

(5) その他

新規事業等

3. 研究開発情報

研究開発活動：

- ①コーポレートR&D部門・新規事業推進センター
「5G」時代に向けて、移動体通信基地局や、そのフロントホール・バックホール、固定通信網ラストマイルなどの次世代大容量高速無線通信に利用されるミリ波帯通信デバイスの開発を進めています。
- ②エネルギー・情報通信カンパニー
細径光ファイバを用いた超多心光ケーブルや、欧州建設資材規制(CPR)に適合した高い難燃性を有する屋内配線用光ケーブルを開発しました。
- ③電子電装・コネクタカンパニー
 - (i) エレクトロニクス事業部門
民生及び産業用の電子機器に使われるフレキシブル・プリント配線板(FPC)、メンブレン、コネクタ、電子ワイヤ、センサ、ハードディスク、サマル製品の開発を行っています。
 - (ii) 自動車事業部門
CASE (Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric) と呼ばれる自動車業界トレンドに対応すべく、ワイヤハーネスを中心としたElectric Distribution System (EDS) 関連の新商品・新技術開発を推進しています。ConnectedとAutonomousの分野では、その進化を支えるために必須となる大容量高速通信が可能なハーネスや、車載ネットワーク配線のシミュレーション技術のほか、将来を見据えた10Gbps超の高速通信ネットワーク制御技術の開発を推進しています。
Electricの分野では、軽量化による低燃費化、低消費電力化などのカーメーカーのニーズに対応すべく、高電圧ハーネスやコネクタのほか、電源供給の最適化を目指した車両全体の電気回路シミュレーション技術の開発や、大電流電源制御技術の開発を推進しています。

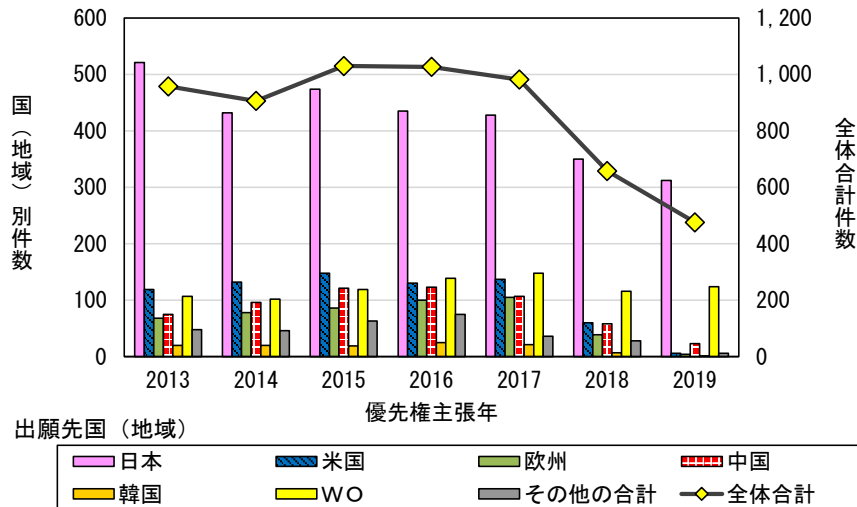
4. 知財情報

フジクラグループの知財指標は以下のとおりです。

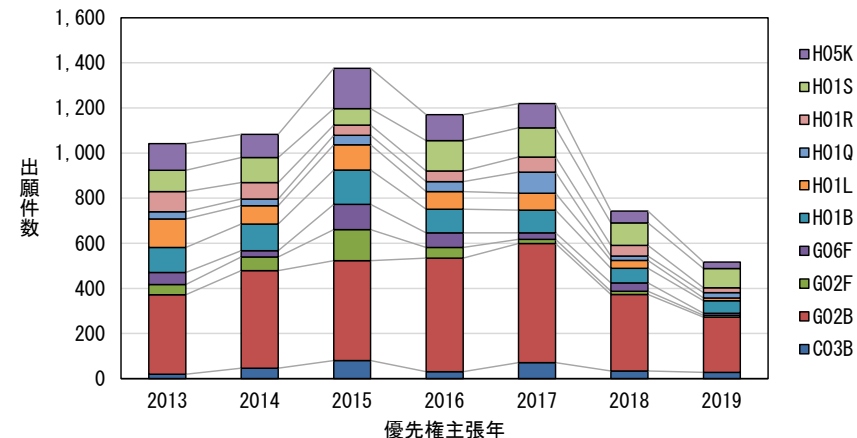
優先権主張年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
出願件数	1,027	982	658	476	34
開発費(百万円)	15,600	16,200	17,400	17,200	16,500
開発費(百万円)/出願	15.2	16.5	26.4	36.1	—

5. 各国・地域、IPCサブクラス別の特許出願動向

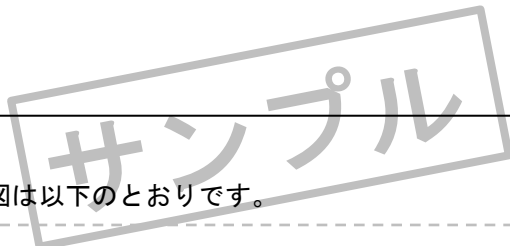
フジクラグループの各国(地域)への特許出願件数は以下のとおりです。



フジクラグループが出願した特許のIPCサブクラス上位10種の出願件数推移は以下のとおりです。



8. 業界相関図



株式会社フジクラを取り巻く業界の相関図は以下のとおりです。

